

各位

東亜合成株式会社

横浜市とのごみ焼却熱有効利用実証試験を開始

東亜合成株式会社（代表取締役社長 COO：小淵 秀範）と横浜市は、ごみ焼却に伴い発生する蒸気を有効利用し、当社の化石燃料使用量削減と横浜市内における二酸化炭素（以下「CO₂」）排出量削減を目指す「ごみ焼却熱有効利用実証試験」を開始しました。

1. 取組概要

当社横浜工場では、化学製品の製造において化石燃料由来の蒸気を使用しています。このたび、脱炭素社会の実現に向けた取組の一環として、横浜市資源環境局鶴見工場と連携し、同工場で発生するごみ焼却由来の蒸気をパイプラインにより当社横浜工場へ供給する実証試験を開始しました。

ごみ焼却工場が発生する蒸気は、化石燃料を使用しないため、CO₂排出量ゼロの環境にやさしい熱エネルギーです。本取組では、従来使用してきた化石燃料由来の蒸気から置き換えることで、製造工程におけるCO₂削減効果の検証を行います。

本実証試験は、自治体が運営するごみ焼却工場から民間事業者へ蒸気を供給するものであり、横浜市では初の事例です。また、全国的にも同様の事例は極めて少なく、ごみ焼却工場における蒸気供給のモデルケースとなることが期待されます。

さらに、化石燃料を使用しない廃棄物由来のエネルギーは、石油への依存が大きい我が国において、経済安全保障の観点からも、将来にわたり安定したエネルギー供給体制に貢献するものと考えております。

当社は今後も、自治体や関係機関との連携を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

横浜市ホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2026/0421netukyoukyu.html>

<本件に関するお問合せ先>

東亜合成株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話：03-3597-7215

以上